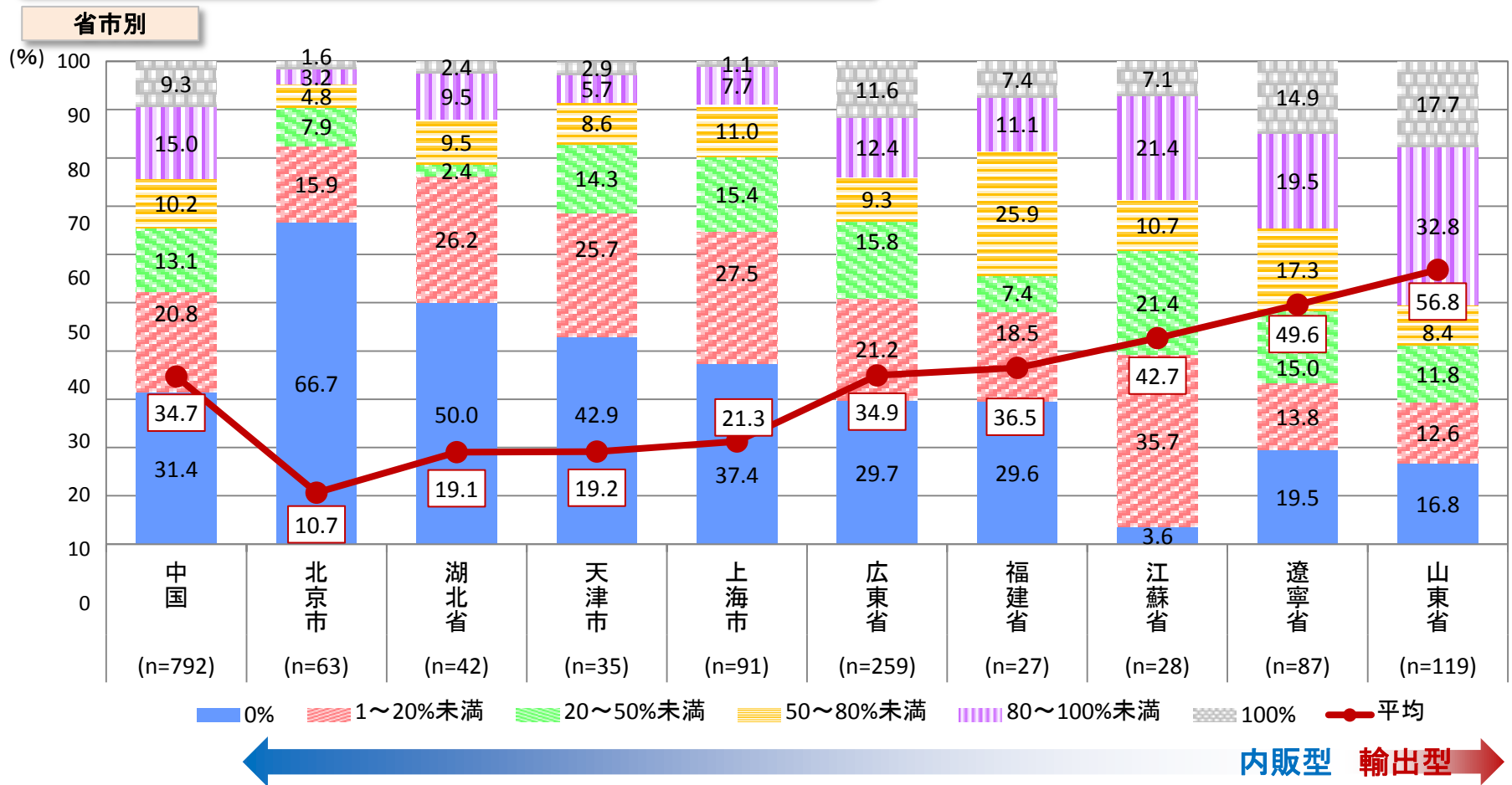


7.輸出入の状況(1)

売上高に占める輸出の比率(中国 省市別、0～100%で回答)

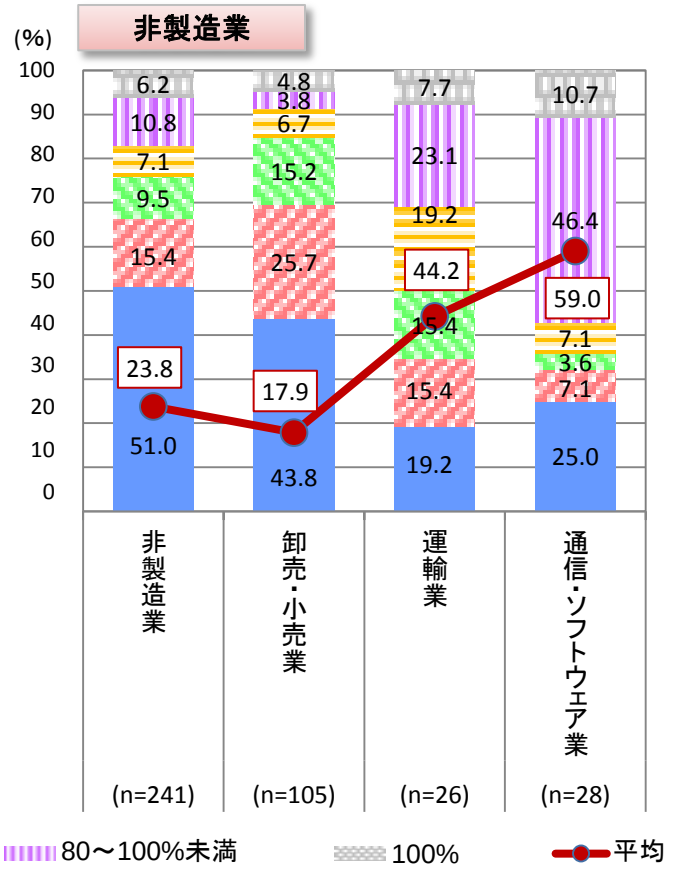
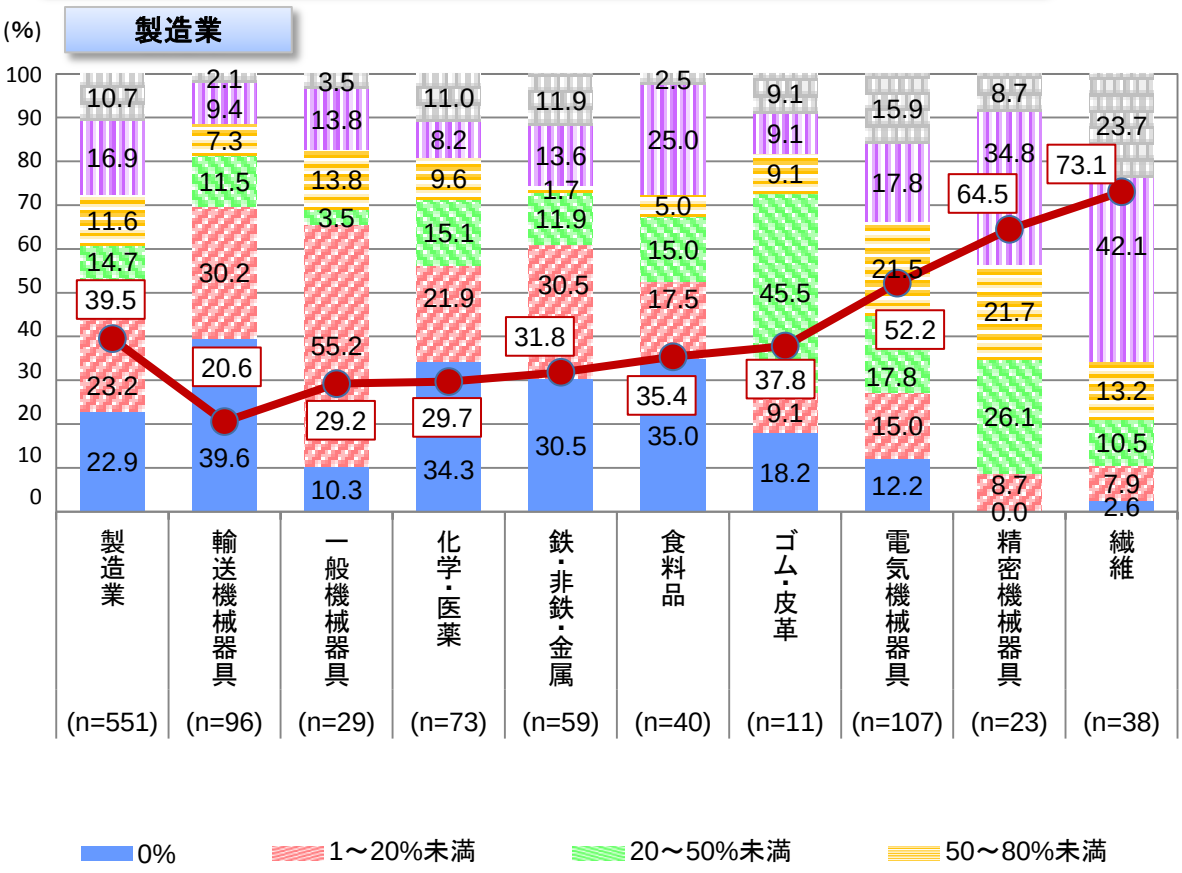


- 売上高に占める輸出比率(平均値)は、34.7%。
- 省市別にみると山東省(56.8%)、遼寧省(49.6%)、江蘇省(42.7%)で相対的に高い。
- 他方、北京市(10.7%)、湖北省(19.1%)、天津市(19.2%)、上海市(21.3%)は輸出比率が相対的に低く、全量内地販売型企业(輸出比率ゼロ)の割合も北京市(66.7%)、湖北省(50.0%)では高い。

7.輸出入の状況(2)

売上高に占める輸出の比率(中国 業種別、0～100%で回答)

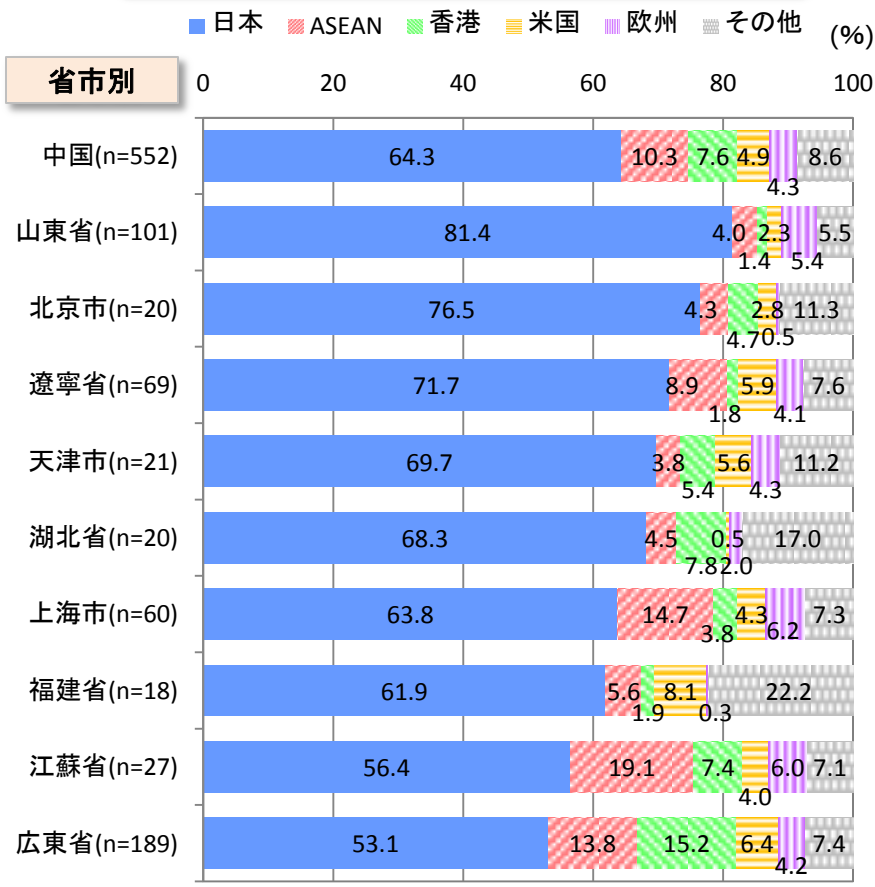
※n=10社以上



- 業種別にみると、売上高に占める輸出比率は、製造業で39.5%。繊維(73.1%)、精密機械機器(64.5%)、電気機械機器(52.2%)などで高く、輸送機械器具(20.6%)、一般機械器具(29.2%)、化学・医薬(29.7%)などで低い。
- 他方、非製造業では23.8%。通信・ソフトウェア業(59.0%)、運輸業(44.2%)で高く、卸売・小売業(17.9%)で低い。

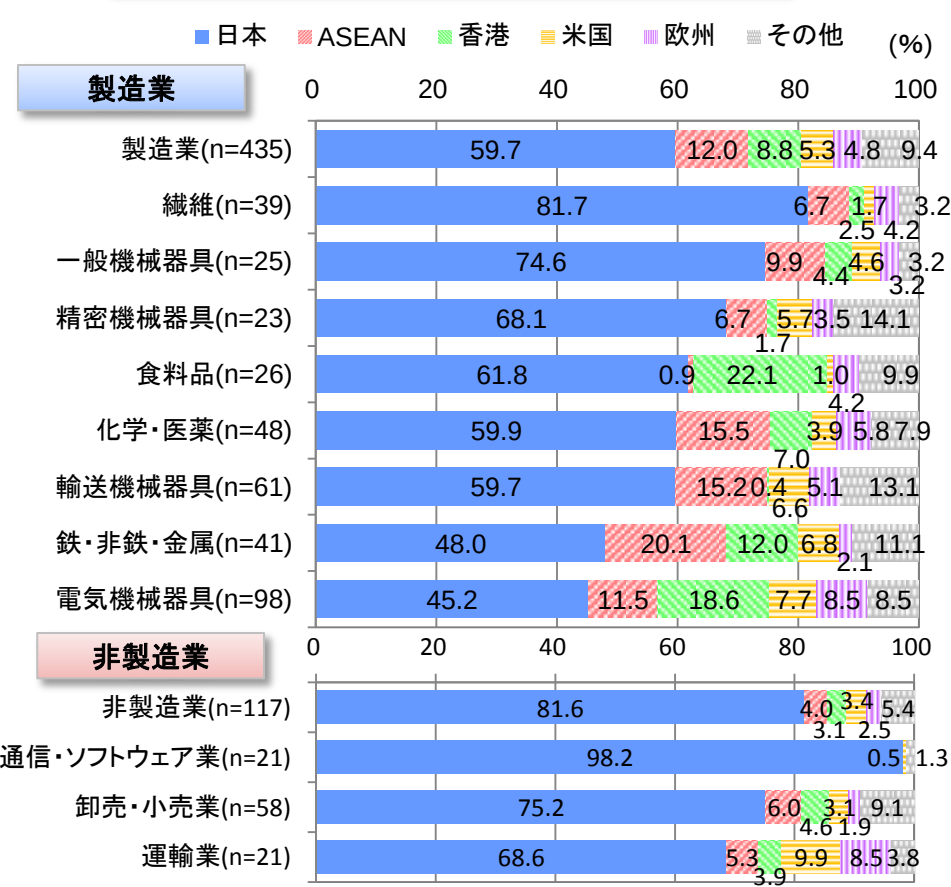
7.輸出入の状況(3)

輸出先の内訳(中国 省市別、
合計が100%となるよう回答)



輸出先の内訳(中国 業種別、
合計が100%となるよう回答)

※n=10社以上



- 輸出先の内訳をみると、日本の比率が高く、64.3%となった。
- 省市別でも、日本の比率がどれも高いが、江蘇省ではASEAN、広東省では香港への輸出比率が相対的に高い。
- 業種別でも、日本の比率が高く、製造業(59.7%)では繊維(81.7%)、非製造業(81.6%)ではソフトウェア業(98.2%)で突出している。このほか、鉄・非鉄・金属、化学・医薬、輸送機械器具ではASEAN、食料品、電気機械器具では香港への輸出比率が相対的に高い。